

平成 29 年度 第 4 回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成 30 年 3 月 16 日（金）10 時 00 分～

場 所：市民活動センター2 階大会議室

出席者：

会 長	田中 伸弘	湖西市 副市長
委 員	小林 廉(代理)	遠州鉄道(株)運輸業務部
委 員	鈴木 哲也	遠州鉄道労働組合 副執行委員長
委 員	辻村 嗣直(代理)	浜松バス(株)代表取締役社長
委 員	小笠原 弘樹	遠鉄タクシー(株)営業部長
委 員	水野 雄一(代理)	中部運輸局静岡運輸支局 運輸企画首席専門官
委 員	山崎 友寛 (代理)	静岡県交通基盤部 地域交通課
委 員	井倉 基	静岡県浜松土木事務所 維持管理課長
委 員	日内地 昭広	静岡県湖西警察署 交通課長
委 員	田内 清之	湖西市老人クラブ連合会 会長
委 員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委 員	土屋 正征	湖西市社会福祉協議会 会長
委 員	渥美 博之	新居町商工会 事務局長
委 員	佐々木 由美子	市民代表
委 員	小笠原 昌之	市民代表
座 長	伊豆原 浩二	愛知工業大学客員教授
委 員	松本 裕行	湖西市 企画部長
委 員	山本 渉	湖西市 健康福祉部長
委 員	片山 彰宏	湖西市 都市整備部長
事務局	疋田 行彦	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 課長代理
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項について

報告事項 1 平成 29 年度計画推進事業の実施状況について

<事務局>

説明

<委員>

バスマップを更新したということで、湖西市は I O T の導入についてはどのように考えていますか。

<事務局>

インターネットでの検索は、ナビタイムと契約し、情報を提供済みです。現在は、データーを入力中と聞いています。他市の状況も、静岡県での会議で紹介がありましたので、参考にしながら他の検索会社との連携も検討したいと思います。

報告事項2 「アスモ南門前」バス停の名称変更について

<事務局>

説明

質問等なし

報告事項3 第三者評価委員会の評価、意見について

<事務局>

説明

<座長>

補足しますと、評価することそのものより、評価してどのようにするのかという部分を具体的にすることを指摘されています。

また、免許返納についての割引施策は、多くの自治体で実施しているものですが、返納者数だとか、割引の実施数だけの把握にとどまっていることが多いので、実際の効果について把握すべきだということでした。アンケートを実施するという事ですので、事務局は検証をお願いします。

報告事項4 デマンド型乗合タクシー(実証実験)の指定施設の追加について

<事務局>

説明

<委員>

指定施設の追加に協議は必要ありませんが、運輸支局の一覧には登録する事項であり、公共交通のことですので、今回のように報告事項で委員に共有することが望ましいと思います。

4 協議事項について

協議事項1 湖西市生活交通確保計画維持改善計画の変更について

<事務局>

説明

質問等なし

協議事項2 「新所原駅」バス停の移設

<事務局>

説明

<委員>

資料の捕捉といたしまして、新所原駅北口広場の完成は、4月の工事が完了次第ということで、4月2日に完成ではないことをご了承下さい。あくまで、暫定供用でのバス停の移設と捉えていただくようお願いいたします。

<座長>

一般車がバスの待機場所に止まってしまうのではという不安があります。また、企業バスの送迎が多くなっていると思いますが、対策は大丈夫ですか。

<委員>

一般車は図の斜線部分、ロータリーを囲むようにスペースをとっています。また、企業バスは図の中心部に待機場所を設けています。

<委員>

図の左斜め下の、駅舎前のスペースに一般車は停められるのですか。

<委員>

その場所は、駐車場所ですが、障害者用の優先スペースとなっています。

<委員>

外国人労働者が多いので、バスがどこに止まるかわかるような工夫があるとよいと思います。

<座長>

他に質問が無ければ、事務局は運輸支局と調整して頂いて、ご了承いただけたということでいいでしょうか。ありがとうございました。

協議事項3 デマンド型乗合タクシー実証実験の評価基準(目標値)について

<事務局>

説明

<座長>

地元との打合せ、話し合いによって決定したということですが、基準については、どのように設定しているのですか。

<事務局>

デマンドを実施している他市の実績や、コーちゃんバスの利用状況から予測した利用者数を提示して地元との話し合って決定しました。利用者数や乗合率については、資料で示した数値より高い数値を提示しましたが、コーちゃんバスと並行しての実験であることや、料金の差などが指摘され、資料に示した値となりました。

<委員>

3月から現在までの実績ではどのようになっていますか。

<事務局>

3月14日時点では、利用回数は1日当たり2.8回、乗合率は1.08です。

<委員>

現況値や、根拠となる数値については、最初に提示した方がよいと思います。

<委員>

実証実験については、その制度を地域が確認するツールであると思いますので、今回のように数値を決めてしまうこと自体も妥当かどうかということもあります。地域の人が使っていけるかどうかということを検証することで、今回のデマンドの内容についても変更があると思いますので、注意して下さい。

<座長>

県の方の言うように、デマンドの内容も段々と変わるかと思います。他市で実施しているデマンド型交通についても3年目でようやく住民に浸透し、利用が増えてきています。

この評価基準(目標値)は達成しなかった場合、どうなるということは決まっていますか。

<事務局>

この基準は、月に1回以上は実施する地元との話し合いの中で提示していきます。その中で、達成していない項目については、より利用して頂くことや、近所の方への周知の協力依頼などをすることで、意識の共有を図っていく基準としたいと考えています。

達成、不達成も重要ですが、資料にも記載しているとおり、住民の意向を確認しながら進めて行きたいと思います。

<座長>

そうすると、評価基準というより努力目標となると思います。この数値でよいかということではありますが、地元と協議しているということで、目標値として承認して頂いてよろしいですか。

<委員>

ここで、数値を承認するには、先ほど話に上がった、基準が他市の参考で妥当なのかという部分もあります。数値については、変更あるという形で承認としたいと思います。

<座長>

それでは、数値の妥当性などは良く地元と話し合い、検証するというので、承認とさせていただきます。

協議事項4 湖西市公共交通(コミュニティバス)の評価基準について

<事務局>

説明

<委員>

評価基準を定めていますが、どのような基準で項目を選定したのですか。

<事務局>

基準や項目については、平成27年度(平成26年10月～平成27年9月)と平成28年度(平成27年10月～平成28年9月)実績を比較して、全体、路線別、便別に比較してみたところ、今まで評価改善委員会や事務局が把握している利用が少ない便がC評価、その他についてはB若しくはA評価となりましたので、基準としては妥当と考えています。

項目については、静岡県の地域間幹線系統評価指標を主に参考とさせて頂きました。また、他市の評価項目などを踏まえて、アンケート等によらず、事務局が常に把握できる数値で評価可能な項目として設定しました。

<座長>

評価指標を定めるという点は問題ありませんが、評価改善委員会で検討する数値をここで決めてしまってもいいのでしょうか。評価改善委員会は別組織として動いて、公共交通会議に提言するので、この基準を評価改善委員会でも議論する必要があるように考えられます。

<委員>

評価改善委員会は公共交通会議の下部組織でしょうか。

<座長>

第三者評価の場合と同じく、評価すること自体はよいのですが、評価してどうするかということが重要であると考えます。事務局はどのように考えていますか。

<事務局>

この評価基準は、評価改善委員会で定量的な判断をするための指標として活用したいと考えています。また、評価改善委員会とは別に事務局としても、市民に路線の評価を提示し、検討する材料として基準を定めたいと考えています。

<委員>

資料に書いてあるように、“地域住民が公共交通を選択する基準のひとつとして活用する”とあるので、まさに、基準のひとつとして活用することでよいと思います。

<座長>

評価改善委員会の位置づけは確認するようお願いいたします。この基準については、評価改善委員会でも議論するというので、承認ということをお願いいたします。

協議事項5 平成30年度計画推進事業の予定、事業者選定の実施について

<事務局>

説明

<座長>

質問等なければ、承認とさせていただきます。議事が全て終わりましたが、事務局からなにかありますか。

<事務局>

これで、平成 29 年度の会議は終了となります。委員の皆様の任期は平成 31 年 3 月末までとなっておりますので、人事異動などにより委員の変更がある場合はご連絡の上、平成 30 年度第 1 回会議までに事務局と調整して頂きますようお願い申し上げます。

長時間の協議ありがとうございました。

以上